

堺市堺区支部通信

支部長挨拶

平成 28 年 11 月号

堺区支部長 大谷 信哉

皆さま、日頃は支部運営・活動に多大のご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、介護支援専門員は、介護保険制度の要として誕生して 10 数年、制度上の
変化も大きく、その都度中心となり活躍してまいりました。堺市においても、来
年度から日常生活支援総合事業が本格的にスタートしますね。そのような職種だ
からこそ、常に最新の情報を入手する必要がある、政策提言についても、色々と
意見を求められる役割も担っていかねばなりません。そのためにも、私たち
介護支援専門員が集まり職能団体として、更に力をつけていく必要があります。
皆さまの周りの仲間達で、ともに協会の活動に賛同できる方がいらっしゃれば、
お声掛け下さい。宜しくお願い申し上げます。



活動報告

第 11 回 堺ブロック合同総会 ビッグアイ

平成 28 年 5 月 21 日 (土) 報告者 大谷 信哉



今年度の 7 区支部合同総会は、10 周年記念として執り行われました。記念講演は、
大阪介護支援専門員協会の濱田会長による『どうなる? どうする! 介護支援専門員!』
といったテーマにて、今後の現状や課題について、最新の情報やトピックスを交えな
がら拝聴しました。また、行政・医師会等の他機関からも来賓とし参加いただき、交
流・連携の機会となりました。

症例報告

第 6 回 堺市在宅尿路管理研究会 サンスクエア堺

平成 28 年 7 月 9 日 (土) 報告者 白神 真奈美

前回は、悪天候により欠席者続出だったと聞いていたのでどうなる事かと心配でしたが、幸い今年は大雨も
免れ 100 名を超える参加者を迎えて無事に取り行なう事ができました。今回のプログラムは、

『ケースレポート～困った症例～』として泌尿器科医・訪問看護ステーション・ケアマネジャーからの症例
報告と、パネルディスカッションの 2 部構成でした。ケアマネジャーの立場から、バルーンカテーテルを
外したいとの思いもある中で日々トラブルを抱えていらっしゃる利用者様をモデルに発表しました。

パネルディスカッションでは、池上先生・森本先生はじめ泌尿器科のドクター 3 名と
我々発表者 3 名に加え、会場内の参加者も交えて日常的に起こるトラブルへの対策や
医師の立場から見た『緊急』についての話し、訪問看護の活用など様々な意見交換が

できました。また病院間の情報交換・連携、
サービス付高齢者向け住宅に往診で入っ
ている医師と泌尿器科医との診療報酬の算定な
ど、課題についても共有できた研究会でした。

